

III 業績

1 兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告第1号(2017)に掲載した事項

なし。

2 外部に発表した事項

(1) 学会誌等

発表年月	内 容	雑 誌 名	提 供 者 名	所 属
H29. 3	沿岸海洋環境の現状と今後の課題	日本水産学会誌 83(2), 256.	反田 實	
H29. 3	1. 播磨灘における海域環境の長期変動と植物プランクトンの応答	日本水産学会誌 83(2), 253-254	西川哲也	資源部
H29. 3	静穏海域外で延縄施設を用いたアサリの垂下コンテナ飼育	水産技術 9(3), 133-139.	安信秀樹	増殖部
H28. 6	大型水槽によるフリー配偶体を使ったワカメの種苗生産	水産増殖 64(2), 173-182.	二羽恭介	増殖部

(2) 学会等講演会

発表年月	内 容	学会名・提供先	提 供 者 名	所 属
H28. 9	沿岸海洋環境の現状と今後の課題	日本水産学会平成 28 年度水産環境保全委員会研究会	反田 實	
H28. 9	播磨灘における海域環境の長期変動と植物プランクトンの応答	平成 28 年度日本水産学会秋季大会水産環境保全委員会研究会	西川哲也	資源部
H28. 12	瀬戸内海環境の現状と問題点へのコメント	平成 28 年度沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウム	西川哲也	資源部
H28. 9	養殖ノリの突然変異育種における効率的な選抜手法と高水温耐性株作出に向けた取り組み	平成 28 年度日本水産学会秋季大会	二羽恭介・阿部知子	増殖部ほか
H28. 9	養殖ワカメにおける形態的および遺伝的差異	平成 28 年度日本水産学会秋季大会	二羽恭介・小檜山篤志・伏屋玲子・坂本崇	増殖部ほか
H29. 3	高水温にも強いワカメ高生長株の開発	平成 29 年度日本水産学会春季大会	二羽恭介	増殖部
H29. 3	温暖化に対応したワカメ種苗生産技術の現場移転	平成 29 年度日本水産学会春季大会	二羽恭介	増殖部

(3) 研究会・資料集等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 3	播磨灘北東部ノリ養殖場における栄養塩管理運転(下水処理施設)および大阪湾からの栄養塩供給に関する実証試験	平成 28 年度漁場環境・生物多様性保全総合対策事業のうち赤潮・貧酸素水塊対策推進事業「漁場生産力向上のための漁場改善実証試験」成果報告書	原田和弘・宮原一隆	資源部
H29. 3	浅海定線観測結果	瀬戸内海ブロック平成 28 年度浅海定線観測等担当者会議議事録(抄)	原田和弘・宮原一隆	資源部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 3	魚介類の斃死原因となる有害赤潮等分布拡大防止のための発生モニタリング発生シナリオの構築 瀬戸内海東部海域	平成 28 年度赤潮・貧酸素水塊対策推進事業「瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発」報告書	西岡智哉・池脇義弘・長谷川尋士・本田恵二・山下泰司・濱崎正明・宮原一隆・原田和弘・秋山 諭・山本圭吾・田中咲絵	資源部ほか
H29. 3	ノリ色落ち珪藻の発生モニタリング、発生機構解明、予察技術開発 瀬戸内海東部海域におけるノリ色落ち原因珪藻の出現諸特性の解明と発生予察技術の開発	平成 28 年度赤潮・貧酸素水塊対策推進事業「瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発」報告書	西岡智哉・池脇義弘・長谷川尋士・本田恵二・山下泰司・濱崎正明・宮原一隆・原田和弘・秋山 諭・山本圭吾・田中咲絵・鬼塚剛・阿保勝之・松原 賢	資源部ほか
H29. 3	栄養塩類等の水質環境が低次生産生物に及ぼす影響解明 海域の栄養塩環境が低次生産に及ぼす影響解明 播磨灘における基礎生産簡易測定技術の開発	平成 28 年度赤潮・貧酸素水塊対策推進事業「瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発」報告書	宮原一隆・原田和弘・阿保勝之	資源部ほか
H28. 9	兵庫県内海における 2015 年および 2016 年の漁況	第 47 回瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁況予報会議報告	西川哲也	資源部
H29. 3	野生ノリの色素変異株作出に関する研究	平成 28 年度海苔養殖の発展に資する長期的・基礎的研究に関する助成研究成果報告書（一般財団法人海苔増殖振興会）	二羽恭介	増殖部
H28. 11	ノリ養殖等の概況および試験研究項目	平成 28 年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議・藻類情報交換会	谷田圭亮	増殖部
H29. 3	マダイの「活け」出荷における品質向上の検討	水産物の共同利用に関する共同研究集第 57 集	鈴木雅巳	但馬水技

(4) 研究会（大会・研究会）等講演

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H28. 4	瀬戸内海の低栄養化と豊かな海	兵庫県計量協会環境計量証明部会	反田 實	
H28. 5	水清ければ魚棲まず 瀬戸内海の貧栄養化問題	武庫川流域圏ネットワーク第 6 回総会記念講演会	反田 實	
H28. 5	近年の海の環境変化と漁業	平成 28 年度淡路地区漁協青壮年部連合会通常総会	反田 實	
H28. 9	兵庫県の漁業と海の環境	全国肥料商連合会兵庫県部会	反田 實	
H28. 10	水産業から見た瀬戸内海東部の貧栄養化	大阪市立大学工学部沿岸域の環境構造に関する基礎セミナー	反田 實	
H28. 11	豊かな瀬戸内海の再生に向けた取り組みについて	全国水産試験場長会	反田 實	
H28. 12	豊かな瀬戸内海の再生に向けた取り組みについて	兵庫県漁連通常総会記念講演	反田 實	
H29. 2	イカナゴについて考える	大輪田塾	反田 實	
H29. 2	豊かな海づくりに向けた取り組みについて	瀬戸内海環境保全協会賛助会員研修会	反田 實	

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 3	海を見る市民の目と漁業者の目	大阪湾フォーラム	反田 實	
H28. 8	漁港生態系の定量評価と機能強化	県立農林水産技術総合センター月例報告会	五利江重昭	資源部
H29. 2	「鹿ノ瀬」海域の漁場機能の再評価について	鹿ノ瀬会 理事及びび代表者会	五利江重昭	資源部
H28. 6	播磨灘のノリ養殖に与える漁場環境変化の影響とその対策	日本下水文化研究会	原田和弘	資源部
H28. 7	播磨灘の漁場環境変化がノリ養殖に与える影響とその対策	全国ノリ研究会	原田和弘・宮原一隆	資源部
H28. 5	最近の赤潮発生状況について	赤潮対策連絡会議幹事会	宮原一隆	資源部
H28.12	兵庫県における赤潮・貝毒の発生状況	平成 28 年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮貝毒部会	宮原一隆	資源部
H28.12	珪藻赤潮の発生はノリ不作の指標となるのか？－播磨灘における珪藻赤潮発生解析結果からの検討－	平成 28 年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮貝毒部会研究発表	宮原一隆・原田和弘	資源部
H29. 1	平成 28 年度ノリ漁期における <i>Eucampia zodiacus</i> の発生予察とその他の情報	養殖ノリの色落ち中期予測等情報交換会	宮原一隆	資源部
H29. 3	魚介類の斃死原因となる有害赤潮等分布拡大防止のための発生モニタリング発生シナリオの構築 瀬戸内海東部海域	平成 28 年度赤潮・貧酸素水塊対策推進事業「瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発」結果検討会	西岡智哉・池脇義弘・長谷川尋士・本田恵二・山下泰司・濱崎正明・宮原一隆・原田和弘・秋山 諭・山本圭吾・田中咲絵	資源部ほか
H29. 3	ノリ色落ち珪藻の発生モニタリング、発生機構解明、予察技術開発 瀬戸内海東部海域におけるノリ色落ち原因珪藻の出現諸特性の解明と発生予察技術の開発	平成 28 年度赤潮・貧酸素水塊対策推進事業「瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発」結果検討会	西岡智哉・池脇義弘・長谷川尋士・本田恵二・山下泰司・濱崎正明・宮原一隆・原田和弘・秋山 諭・山本圭吾・田中咲絵・鬼塚剛・阿保勝之・松原 賢	資源部ほか
H29. 3	栄養塩類等の水質環境が低次生産生物に及ぼす影響解明 海域の栄養塩環境が低次生産に及ぼす影響解明 播磨灘における基礎生産簡易測定技術の開発	平成 28 年度赤潮・貧酸素水塊対策推進事業「瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発」結果検討会	宮原一隆・原田和弘・阿保勝之	資源部ほか
H28. 4	兵庫県内海における 2015 年および 2016 年の漁況	第 47 回瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁況予報会議報告	西川哲也	資源部
H28. 7	計量魚群探知機を使った但馬沖のホタルイカ漁場の探索	平成 28 年度但馬地区漁青連グループリーダー夏期研修会	西川哲也	資源部
H28.11	2016 年夏眠期の調査結果について (兵庫県)	イカナゴ瀬戸内海東部系群に係る平成 28 年度第 2 回情報交換会	西川哲也	資源部
H29. 1	今漁期のイカナゴ親魚調査結果について	平成 29 年古せ曳操業関係組合代表者会議	西川哲也	資源部
H29. 1	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果について	平成 29 年第 1 回大阪湾 3 地区船曳網役員合同会議	西川哲也	資源部
H29. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果について	西播船曳網漁業同業会通常総会	西川哲也	資源部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果について	播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会	西川哲也	資源部
H29. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	平成 29 年漁期いかなご船びき網漁業の操業に関する打合せ会議	西川哲也	資源部
H29. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	平成 29 年第 2 回大阪湾 3 地区船曳網役員合同会議	西川哲也	資源部
H29. 3	最近のイカナゴ漁業の現状と課題	平成 28 年度第 2 回兵庫県豊かな瀬戸内海再生調査事業検討会	西川哲也	資源部
H28. 9	平成 27 年 9 月～平成 28 年 8 月魚病発生状況	平成 28 年度瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	中村行延	増殖部
H28. 11	平成 27 年度及び平成 28 年度上半期・魚病診断状況	平成 28 年度(第 18 回)西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会	中村行延	増殖部
H28. 11	兵庫県における海面養殖の魚病診断件数の推移	平成 28 年度(第 18 回)西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会	中村行延	増殖部
H28. 4	ワカメ種苗生産技術研修会	南淡路漁協ワカメ生産者	二羽恭介	増殖部
H28. 4	ワカメ種苗生産技術研修会	江井ヶ島漁協ワカメ生産者	二羽恭介	増殖部
H28. 5	有用海藻の遺伝育種	北里大学海洋生命科学部特別講義	二羽恭介	増殖部
H28. 5	ワカメ種苗生産技術研修会	神戸市漁協組合職員	二羽恭介	増殖部
H28. 5	養殖ノリの野外養殖試験	明石浦漁協	二羽恭介	増殖部
H28. 6	国立研究開発法人科学技術振興機構の「中高生の科学研究実践活動推進プログラム」の指定校特別講義「ノリの不思議な生態と遺伝現象」	兵庫県立星陵高等学校生命科学類型 2 年生	二羽恭介	増殖部
H28. 7	養殖ノリの突然変異育種による高水温耐性株作出の試み	全国ノリ研究会	二羽恭介	増殖部
H28. 8	スサビノリの濃褐色型変異株作出に関する研究	平成 28 年度研究結果報告会(一般財団法人海苔増殖振興会)	二羽恭介	増殖部
H28. 9	養殖ノリの高水温耐性株作出に向けた取り組み	平成 28 年度兵庫県のり養殖技術研修会	二羽恭介	増殖部
H28. 9	ワカメ種苗生産に向けた現地研修会	南あわじ漁協ワカメ生産者	二羽恭介	増殖部
H28. 7	平成 27 年度ノリ漁期に生じた深刻な問題点(兵庫県)	全国ノリ研究会	谷田圭亮	増殖部
H28. 7	カキ天然採苗・シングルシート養殖について	伊保漁協、江井ヶ島漁協	谷田圭亮	増殖部
H28. 9	カキのお話	相生小学校	谷田圭亮	増殖部
H28. 11	本年度漁期 これまでの経過と昨年度漁期序盤の漁場環境	神戸市のり協議会 平成 28 年度海苔養殖漁期前研究会	谷田圭亮	増殖部
H29. 1	平成 28 (2016)年漁期 これまでの経過	養殖ノリの色落ち中期予測等情報交換会	谷田圭亮	増殖部
H29. 2	カキの成長と体のつくり	相生小学校	谷田圭亮	増殖部
H28. 4	平成 27 年度試験研究結果及び平成 28 年度試験研究課題について	第 315 回兵庫県内水面漁場管理委員協議会	増田恵一	内水面
H28. 6	魚病に関する情報交換	平成 28 年度全国養鱒技術協議会魚病対策研究部会	増田恵一	内水面

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H28. 9	兵庫県内水面養殖における魚病診断件数の推移 養殖ニジマスのエドワジェラ・イクタルリ感染症についてについて ため池のゲンゴロウブナに発生したエドワジェラ症について	第30回近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会	増田恵一	内水面
H29. 3	平成28年度のニジマス魚病発生状況について	平成28年度ニジマス魚病防疫講習会	増田恵一	内水面
H28. 7	日本海西部の底魚資源と調査船たじまによる漁具改良	第6回西日本底びき網漁業勉強会	大谷徹也	但馬水技
H28. 7	網規模と網挙動の関係～大目合網導入による網漁具改良試験～	第6回西日本底びき網漁業勉強会	北岡 宏・福元 博貴・江熊 勇揮・城戸 勇介・西 真太郎・大谷 徹也・尾崎 爲雄・藤井 一弥・平山 完・伊藤 翔	但馬水技ほか
H28. 7	ズワイガニ漁況と調査結果の概要	平成28年度ズワイガニ研究協議会	大谷徹也	但馬水技
H28. 8	平成28年度ベニズワイ資源調査結果と資源管理の方向性	平成28年度兵庫県べにずわいかにかご漁業協会通常総会	大谷徹也	但馬水技
H28. 8	平成28年度底びき漁期前調査結果	平成28年度底びき漁期前調査結果説明会	大谷徹也	但馬水技
H28.10	平成27年漁期のアカガレイ漁況と資源調査結果の概要・平成27年漁期のズワイガニ漁況と調査結果の概要	平成28年度あかがれい・ずわいがにかご漁業協会管理検討協議会	大谷徹也	但馬水技
H28. 7	マダイの「活け」出荷における品質向上の検討	第64回日本海水産物利用担当者会議	鈴木雅巳	但馬水技

(5) ニュース・情報誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H28. 6	今漁期の問題点と今後の対応（瀬戸内地区）	海苔タイムス 2209号	谷田圭亮	増殖部
H28.10	来たる漁期の生産対策（瀬戸内地区）	海苔タイムス 2220号	谷田圭亮	増殖部
H29. 1	27年度漁期に生じた深刻な問題点（兵庫県）	海苔タイムス 2230号	谷田圭亮	増殖部

(6) センターだより

名 称	号数	提 供 者 名	所 属
水産技術センターだより			
漁海況情報	12	長濱達章	資源部
漁場環境情報	12	原田和弘・宮原一隆	資源部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果 （播磨灘）	7	西川哲也	資源部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果 （大阪湾・紀伊水道）	3	西川哲也	資源部
イカナゴ親魚、稚仔分布調査結果	2	西川哲也	資源部
イカナゴシンコ漁況予報	1	西川哲也	資源部
水温観測情報	52	内田健二	資源部
貝毒情報	20	宮原一隆・内田健二	資源部
赤潮情報	12	宮原一隆・小田垣寧	資源部
珪藻赤潮情報（播磨灘）	16	原田和弘・宮原一隆・小田垣寧・のり研究所	資源部・のり研究所
珪藻赤潮情報（大阪湾）	7	谷田圭亮・二羽恭介・小田垣 寧・のり研究所	増殖部・資源部・のり研究所
カキ漁場環境情報	16	谷田圭亮・宮原一隆	増殖部・資源部
但馬水産技術センターだより			
海況情報	35	鈴木雅巳	但馬水技
漁況情報	17	鈴木雅巳・大谷徹也	但馬水技
貝毒情報	3	鈴木雅巳・谷口健	但馬水技・但馬水産

名 称	号数	提 供 者 名	所 属
イカ漁況日報	139	鈴木雅巳	但馬水技

(7) 雑誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 7	瀬戸内海の環境変化と漁業生産～豊かな海へ・漁業の循環機能を考える～	ACADEMIA 157号	反田 實	
H29. 3	ノリ漁場への栄養塩供給～下水処理場における栄養塩管理運転の試み～	瀬戸内海 73号	原田和弘	資源部
H28. 9	養殖技術講座～ノリ生産量第2位の兵庫県 業務用中心だがブランドも訴求	養殖ビジネス 2016.9	谷田圭亮	増殖部
H29. 3	マダイの「活け」出荷における品質向上の要件	月刊アクアネット 第20巻第3号	鈴木雅巳	但馬水技

(8) 技術書籍等

なし。

(9) 新聞

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H28. 11	ワカメ種苗維持へ人工培養技術開発	神戸新聞	二羽恭介	増殖部
H29. 1	品種改良で早期収穫が可能に「鳴わかめ」収穫ピーク	神戸新聞	二羽恭介	増殖部
H28. 5	海のたより 1～日本海のプロフィール～	日本海新聞	山中健志郎	但馬水技
H28. 6	海のたより 2～カニ漁、かごにひと工夫～	日本海新聞	大谷徹也	但馬水技
H28. 7	海のたより 3～水産加工業者の問題解決～	日本海新聞	川村芳浩	但馬水技
H28. 8	海のたより 4～イワガキ(岩牡蠣)～	日本海新聞	岡本繁好	但馬水技
H28. 9	海のたより 5～ソデイカ(アカイカ)～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
H28. 10	海のたより 6～調査船「たじま」の仕事～	日本海新聞	尾崎為雄	但馬水技
H28. 11	海のたより 7～ズワイガニ守り、増やす～	日本海新聞	大谷徹也	但馬水技
H28. 12	海のたより 8～魚の異物(寄生虫)～	日本海新聞	川村芳浩	但馬水技
H29. 1	海のたより 9～ジンバ(ホンダワラ)～	日本海新聞	岡本繁好	但馬水技
H29. 2	海のたより 10～ホタルイカの目玉を取る!～	日本海新聞	森 俊郎	但馬水技
H29. 3	海のたより 11～音響探査～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
H28. 4	海の天気図 浜だより～ズワイガニ漁終了とホタルイカ漁盛漁期～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
H28. 5	海の天気図 浜だより～日本海スルメイカ長期漁況予報～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
H28. 10	海の天気図 浜だより～ソデイカの漁模様に～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
H28. 11	海の天気図 浜だより～ズワイガニ漁の解禁～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
H29. 2	海の天気図 浜だより～2016年の漁況とりまとめ(速報値)～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技

(10) テレビ・ラジオ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 3	イカナゴの減少要因	読売テレビ	西川哲也	資源部
H28. 11	うまいッ!「兵庫県明石市・明石鯛」	株式会社ダイメディア制作部(NHK)	鈴木雅巳	但馬水技

(11) インターネット・ホームページ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H28	センター雑感 漁獲統計のはなし	兵庫県立農林水産技術総合センター	五利江重昭	資源部
H28	私の試験研究 瀬戸内海の漁場環境変化がノリ養殖に与えている影響とその対策	兵庫県立農林水産技術総合センター	原田和弘	資源部

3 見学会及び研究発表会

(1) 見学会

ア 日 時

平成 28 年 8 月 9 日 9 時 30 分～12 時

イ 場 所

兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター

ウ 内 容

顕微鏡観察、魚拓製作、煮干しの解剖、魚とのふれあいプール、ミニ見学コース等

(2) 研究発表会

ア 日 時

平成 28 年 8 月 9 日 14 時～15 時 55 分

イ 場 所

兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター漁業研修館 2 階大研修室

ウ 課 題

マダイの「活け」出荷の品質向上について

(発表者：但馬水産技術センター主任研究員 鈴木雅巳)

計量魚群探知機を使ったホタルイカ漁場の探索

(発表者：水産技術センター資源部上席研究員 西川哲也)

ノリ養殖漁場への栄養塩類供給手法の検討と今後の課題

(発表者：水産技術センター資源部主席研究員 原田和弘)

4 特許出願及び登録状況

【国特許】

職務 発明	提出年月日 認定年月日	特許 登録	出願年月日 登録年月日	内 容	備 考
	H10. 7. 17 H11. 2. 24		H11. 3. 16 H20. 3. 6	ホタルイカの眼球除去具及びこれを用いた眼球除去装置	H12. 9. 26 出願公開 H18. 2. 21 審査請求
	H11. 8. 9 H11. 10. 26		H11. 8. 9 H19. 12. 14	軟弱魚の冷凍保存方法及びこれを用いた佃煮の製造方法	H13. 2. 20 出願公開 H18. 8. 4 審査請求
	H13. 12. 25 H14. 6. 10		H13. 7. 16	灰干しわかめ用の疑似灰	H14. 11. 5 出願公開 H20. 7. 17 審査請求 取り下げ
	H17. 1. 21 H17. 2. 25		H18. 5. 18 H23. 12. 2	水産加工残さを用いた漁業用餌料の製造方法	H19. 11. 29 出願公開 H20. 3. 9 審査請求
	H21. 4. 3 H21. 5. 18		H21. 6. 1 H24. 4. 4	養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	H21. 11. 30 出願公表
	H22. 10. 22 H22. 10. 25		H23. 1. 31 H25. 7. 12	バラ干し海苔の製造方法	H23. 2. 21 審査請求 H24. 8. 24 特許公開
	H27. 4. 13 H27. 5. 20		H27. 10. 15	カキの採苗器	

発明（出願特許）の概要

発明の名称	発明の概要
ホタルイカの眼球除去具及びこれを用いた眼球除去装置	ホタルイカの眼球を能率良く除去することができるホタルイカの眼球除去具及びこれを用いた眼球除去装置を提供する。 閉脚状態から開脚状態に弾性的に変形可能な双脚分の先端に、ホタルイカの頭部に押しつける押圧部を設けた。押圧部をホタルイカの頭部に押しつけることにより、当該頭部から1対の眼球を押し出し、この押し出した眼球を双脚分の開脚に伴って頭部から切り離す。
軟弱魚の冷凍保存方法及びこれを用いた佃煮の製造方法	解凍時に腹切れや身崩れなどの品質低下を起し難い軟弱魚の冷凍保存方法及びこれを用いた佃煮の製造方法を提供する。 軟弱魚に有機酸塩と糖類を含浸させた後、当該軟弱魚を冷凍する。この冷凍された軟弱魚を自然解凍した後、糖分を含む調味液に入れて煮熟する。
灰干しわかめ用の疑似灰	従来の木灰に比べて全く遜色のない性状を有する灰干しわかめ用の疑似灰を提供する。 粉炭からなる黒色粉末と、穀類、根菜類、セルロース、カルシウム及び不溶性鉱物性物質から選択される1種または2種以上からなる白色粉末と、アルカリ剤とを混合して、灰色にてアルカリ性を示す粉末とした。
水産加工残さを用いた漁業用餌料の製造方法	水産加工場から排出される加工残さを加熱・破砕・濃縮・成型し、低コストで漁業用餌料にする処理方法を提供する。 数種類の水産加工残さを一定の割合で混合して加熱・破砕・濃縮し、水分活性を調整することで保存性を高めるとともに、混合割合と水分量を調整し残さだけで成型できることを特徴とする水産加工残さの有効利用方法及び漁業用餌料の製造方法。
養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	成熟は晩熟で、生長が速く、葉形は線形である。色調は色調低下時に黒い傾向がある。兵庫本来の「色・艶」を兼ね備えており、県産ノリの用途として主力である業務用ノリに適した特性を有している。
バラ干し海苔の製造方法	バラ干し海苔の色の見た目の色の改善を図り、長期間冷凍保存をしても品質や鮮度が劣化しないバラ干し海苔の製造方法を提供する。 バラ干し海苔の製造方法は、採集した原藻を熱湯に浸漬し湯引かせる湯引き工程、次に、脱水工程、その後、乾燥工程、から成る。これに加えて、原藻を湯引き後に凍結保存を行うことにより、原料として長期保存が可能となり、時期・量を問わずバラ干し海苔を供給できる。本バラ干し海苔の製造方法によれば、バラ干し海苔の保存性や風味を向上できる。
カキの採苗器	本県で開発したアサリの中間育成カゴのフタの裏側に著しく天然カキが付着することに着眼し、フタとメッシュの部分を取り出したもの。メッシュ状の開口部を有するプラスチック製の板とメッシュシートの組み合わせによって形成される空間において、侵入してきた浮遊幼生が主にプラスチック製の板に付着する現象が確認できた。この板はポリエチレン製で、目合い1cmのメッシュとなっており、容易に変形することができるため、付着したカキ種苗を剥離することが容易で、シングルシードカキとしての種苗化が可能である。また、プラスチック製の板とメッシュシートで形成された幅の狭い場所で付着することで、甲殻類や魚類による食害も防止できる利点がある。

5 学位・表彰等

なし。

6 研究員の派遣

なし。

7 研修生・見学者の受け入れ

(1) 一般研修生の受け入れ

氏名	所属	研修課題	期間	受け入れ部門
朝来ライオンズ 6名		視察研修	H28. 7. 12 (1日)	内水面

(2) トライやるウィーク体験事業

氏名	研修課題	期間	受け入れ部門
大蔵中学校、野々池中学校、大久保中学校、大久保北中学校、江井島中学校、魚住中学校、魚住東中学校、二見中学校各1名 計8名	展示魚採集、魚の解剖、ノリのDNA抽出実験、海洋環境調査実習ほか	H28. 5. 30～6. 3 (5日間)	資源部、増殖部
朝来中学校4名	飼育水槽清掃、給餌、展示魚等採集、魚解剖、魚ペーパークラフト製作、魚調理実習、川虫採りほか	H28. 6. 6～6. 10 (5日間)	内水面
青垣中学校2名	魚解剖、魚ペーパークラフト製作	H28. 6. 8 (1日間)	内水面
浜坂中学校4名 (浜坂漁協との共同)	ハタハター夜干しの加工	H28. 5. 31 (1日間)	但馬水技、北部農業・加工流通部
香住第一中学校3名	生物測定、加工試験、サザエ選別・給餌、網いけす作成、プランクトン採集・観察、かにかご調査準備作業	H28. 6. 6～6. 10 (5日間)	但馬水技、北部農業・加工流通部
香住第一中学校5名 (但馬漁協との共同)	かにかご調査準備作業	H28. 6. 9 (1日間)	但馬水技

(3) 受託研修・国際交流課からの依頼による研修の受け入れ

なし。

(4) 見学者の受け入れ

【水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H28. 4	8	53	17	12	1	24
5	12	677	0	645	0	32
6	11	443	69	216	31	158
7	8	193	0	8	0	185
8	30	532	28	114	38	390
9	17	1,046	270	737	17	39
10	22	1,207	0	1,110	0	97
11	13	787	0	782	2	5
12	2	220	0	176	0	44
H29. 1	3	17	8	0	28	9
2	1	0	0	0	53	0
3	7	112	7	0	11	105
合計	134	5,287	399	3,800	181	1,088

【内水面漁業センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H28. 4	38	74	36	0	13	25
5	34	57	3	6	14	34
6	38	156	2	100	1	53
7	37	212	0	157	17	38
8	35	95	2	0	11	82
9	22	41	0	13	10	18
10	29	77	1	19	11	46
11	36	137	18	85	9	25
12	17	27	0	1	10	16
H29. 1	11	14	0	0	0	14
2	26	30	1	1	5	23
3	35	49	0	0	5	44
合計	358	969	63	382	106	418

【但馬水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H28. 4	0	0	0	0	0	0
5	1	32	0	32	0	0
6	0	0	0	0	0	0
7	2	35	25	10	0	0
8	2	70	30	0	0	40
9	2	30	10	0	20	0
10	2	50	0	0	0	50
11	2	20	0	0	0	20
12	0	0	0	0	0	0
H29. 1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	2	36	0	0	0	36
合計	13	273	65	42	20	146

【但馬水産技術センター】

(北部農業技術センター農業・加工流通部 担当分)

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H28. 4	3	3	3	0	0	0
5	2	2	2	0	0	0
6	3	3	2	0	0	1
7	4	25	2	13	10	0
8	4	8	8	0	0	0
9	3	3	2	0	1	0
10	7	8	8	0	0	0
11	6	6	6	0	0	0
12	6	6	6	0	0	0
H29. 1	2	16	1	0	15	0
2	4	4	4	0	0	0
3	5	5	5	0	0	0
合計	49	89	49	13	26	1

(加工相談のうち来訪、研修分)

8 資格・認定研修への講師派遣

なし。

9 その他 (出版物等)

平成 28 年度研究成果紹介パネル 「マダイの「活け」出荷技術」